

# 64<sup>th</sup> Annual Meeting of the Biophysical Society での海外発表



目で見る  
海外論文発表

好岡大輔\*

Overseas presentation at Biophysical Society

Key Words : Positive feedback mechanism, Protein diffusion dynamics interaction

## <参加会議名>

64<sup>th</sup> Annual Meeting of the Biophysical Society

<開催場所>アメリカ合衆国カリフォルニア州サン  
ディエゴ

<渡航期間> 2020年2月14日から2020年2月21  
日まで

## <発表タイトル>

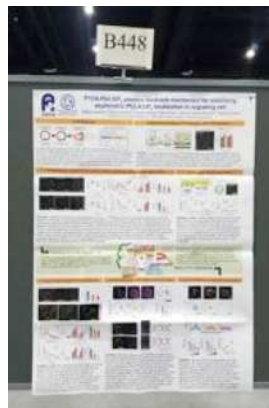
PTEN - PI(4,5)P<sub>2</sub> POSITIVE FEEDBACK  
MECHANISM FOR STABILIZING ASYMMET-  
RIC PI(3,4,5)P<sub>3</sub> LOCALIZATION IN MIGRATING  
CELL

私は2020年2月15日から2020年2月19日にか  
けてアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴで  
開催された64<sup>th</sup> Annual Meeting of the Biophysical  
Societyに参加し、ポスター発表を行いました。今  
回で64回目となる本学会は生物物理学の最前線で  
活躍する世界中の有力な科学者を集め、未発表デー  
タを共有し、最新技術を学ぶことを目的としていま  
す。5日間に及ぶ会議には約6,500人が参加し、1  
日あたり900を超えるポスター発表および500以上  
の口頭発表を通して、非常に活発な議論が交わされ  
ることで知られています。

私は今回、人工脂質膜上でタンパク質の拡散動態  
を1分子イメージング解析することで脂質とタンパ

ク質の相互作用関係を明らかにした内容をまとめて  
研究発表を行いました。この研究成果は2020年2  
月28日付けで英国科学誌「Communications Biolo-  
gy」に公開されました。特にありがたかったのは、  
日頃から研究を参考にしており、論文の査読も依頼  
させていただいた先生が私の発表を聞きに来て下さ  
ったことです。今回の研究結果をふまえて、さらなる  
疑問や実験の提案をしていただきました。ポスター  
セッション、シンポジウムは非常に活発で、最先  
端の技術を学ぶことができました。ポスターセッシ  
ョンの場では発表者と直接議論することにより、自  
分の研究にも応用可能な情報を吸収することができ、  
大変有意義な時間を過ごすことができました。

最後になりましたが、本学会発表にあたり、ご支  
援を賜りました生産技術振興協会に厚く御礼申し上  
げます。



発表したポスター



会場内の様子



会場の外観



会場のテラスから眺めた  
コロナド橋



会場近くで食した  
マヒマヒのゲリルの  
タコスとIPA



\* Daisuke YOSHIOKA

1993年3月生まれ  
大阪大学大学院 理学研究科 生物科学  
専攻 博士前期課程修了 (2017年)  
現在、大阪大学大学院 理学研究科  
生物科学専攻 博士後期課程3年  
修士(理学)  
E-mail : d.yoshioka@bio.sci.osaka-u.ac.jp